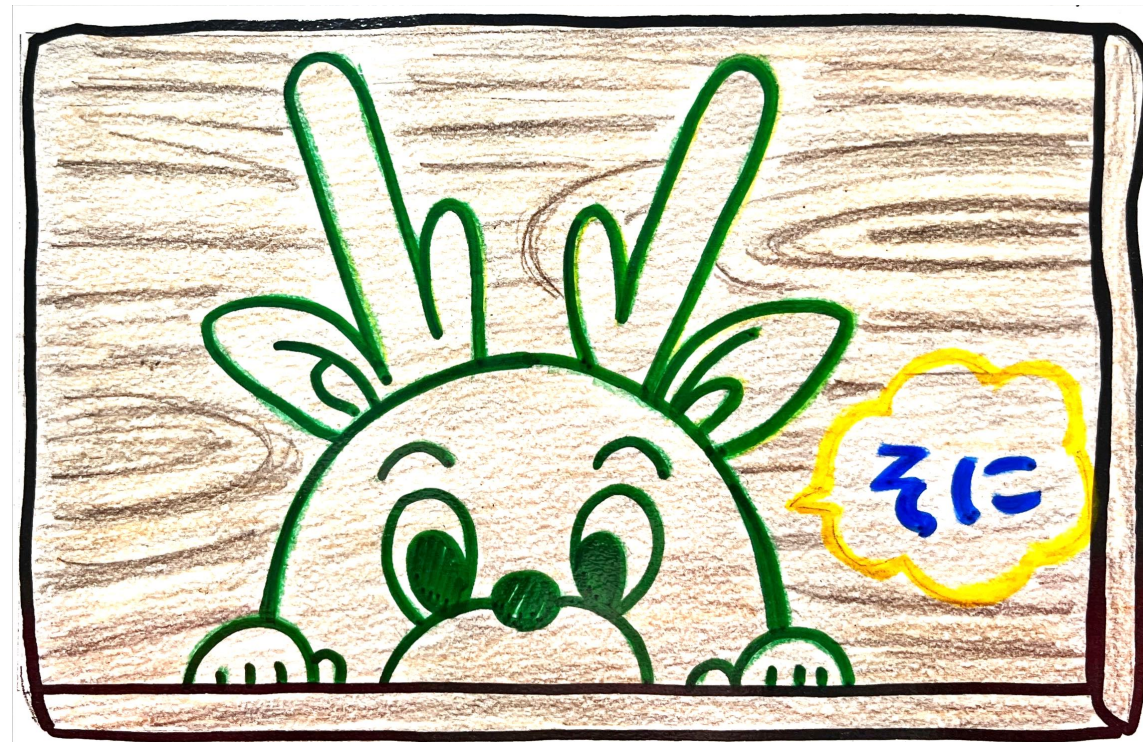


① 板を焼く準備をしよう

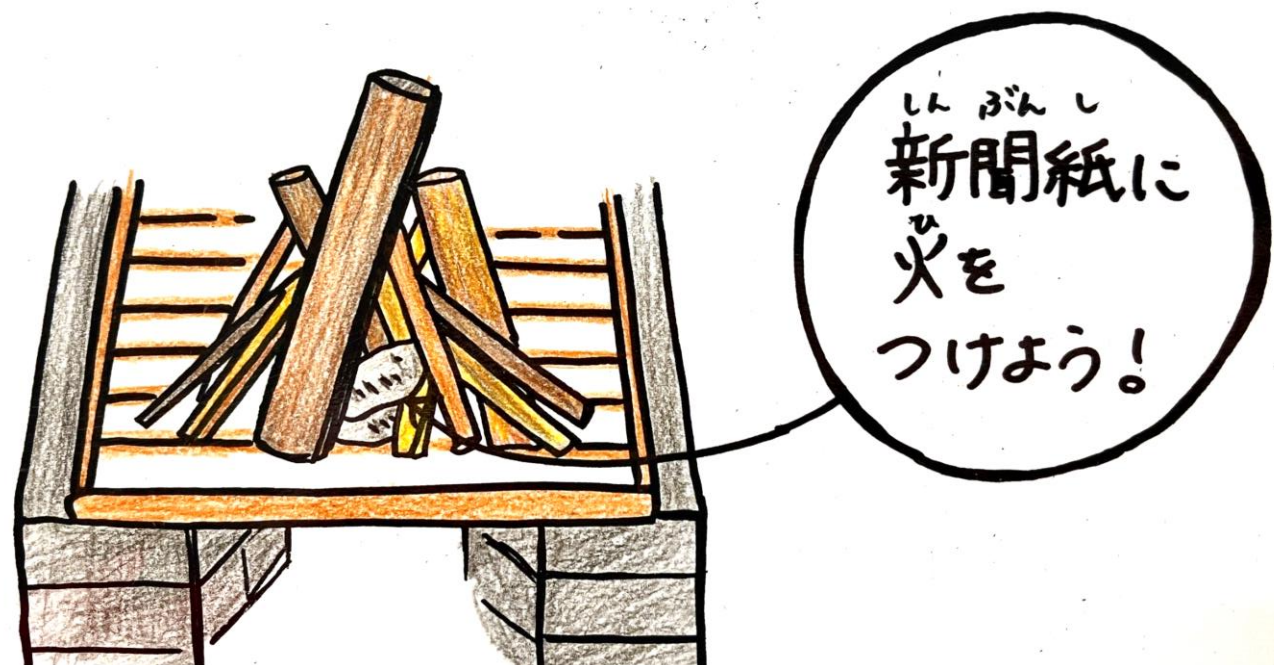
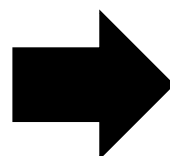
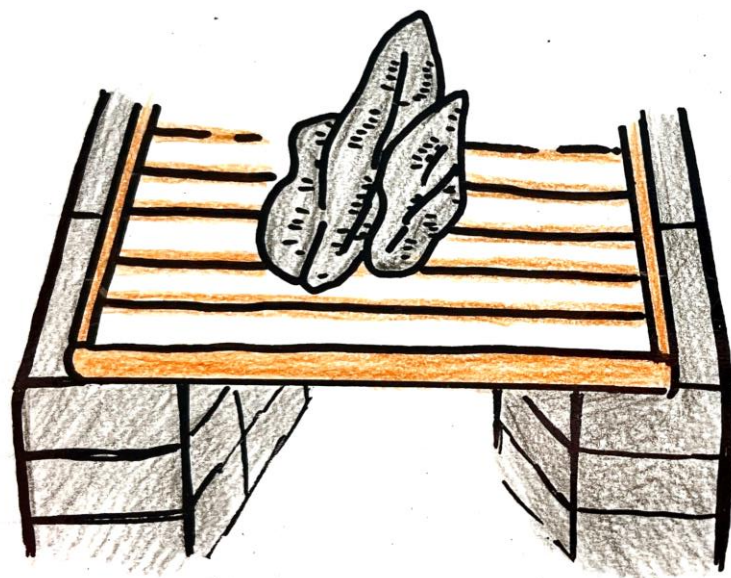
①－１ まきで焼く場合

①－２ ガスバーナーで焼く場合



《まきで焼く場合》

※まきは下の段のロストル（網）に組んでください



新聞紙を軽くねじり、
網の上に3～4本置く。

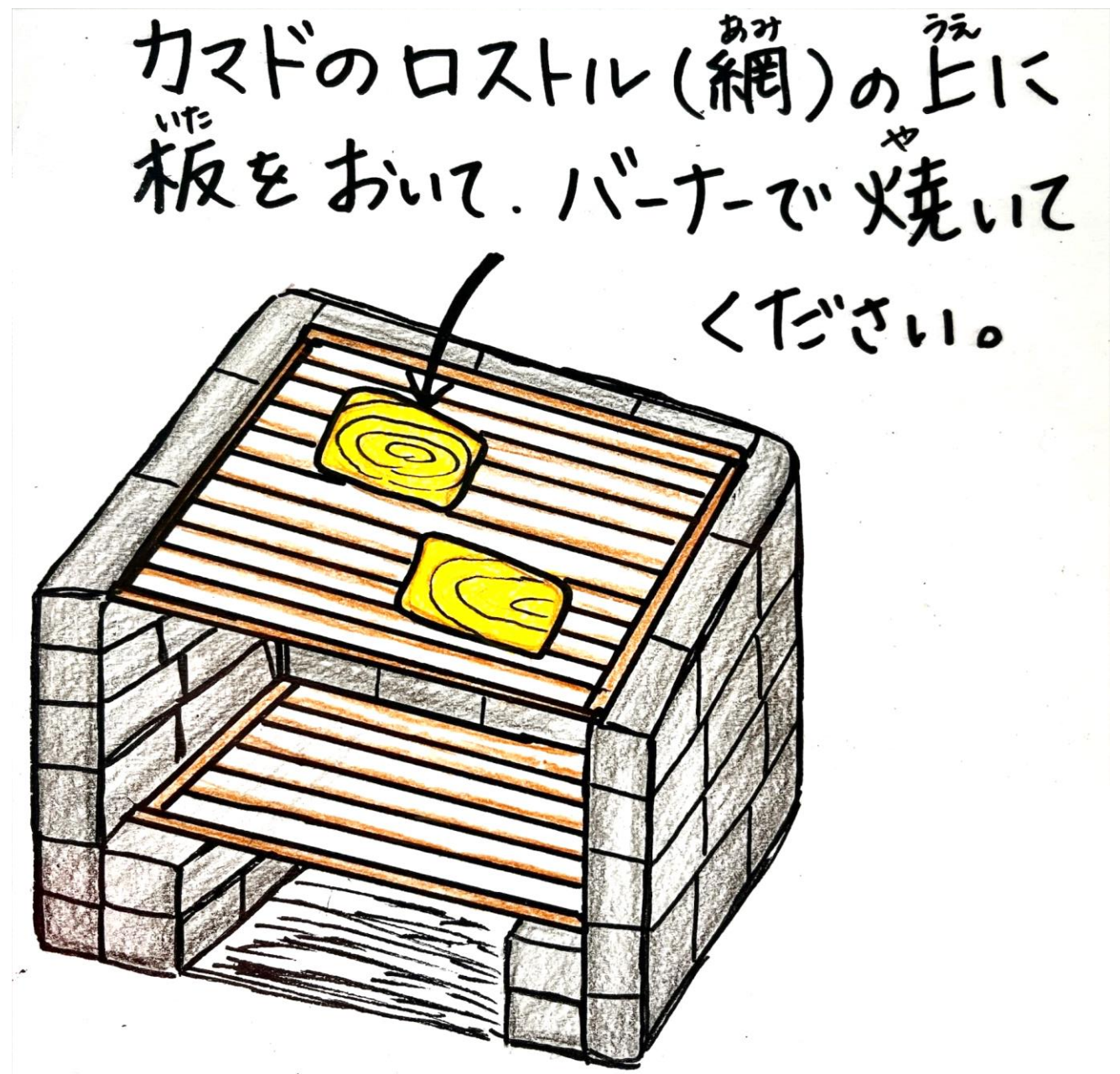
新聞紙の上にまきを組んでいく。
空気の通りをよくするように、
いろいろな方向から重ねる。
だんだん太いまきに火がついていく
ようにする。

①－２

《ガスバーナーで焼く場合》

ガスボンベにノズルを
とりつけ、準備。

※必ず大人の方が取り
扱ってください。



② 板を焼こう

おもて・うら・よことまんべんなく焼きましょう。
やけどしないよう注意してください。
全体が黒っぽくなればOKです。

※焼きすぎると、板がそったり、うすくなったりします。

ようすを見ながら焼いてください。

焼いたときに板が赤くなっても、水をかけたり、たたいたりせず
そのまま冷めるまでまっってください。

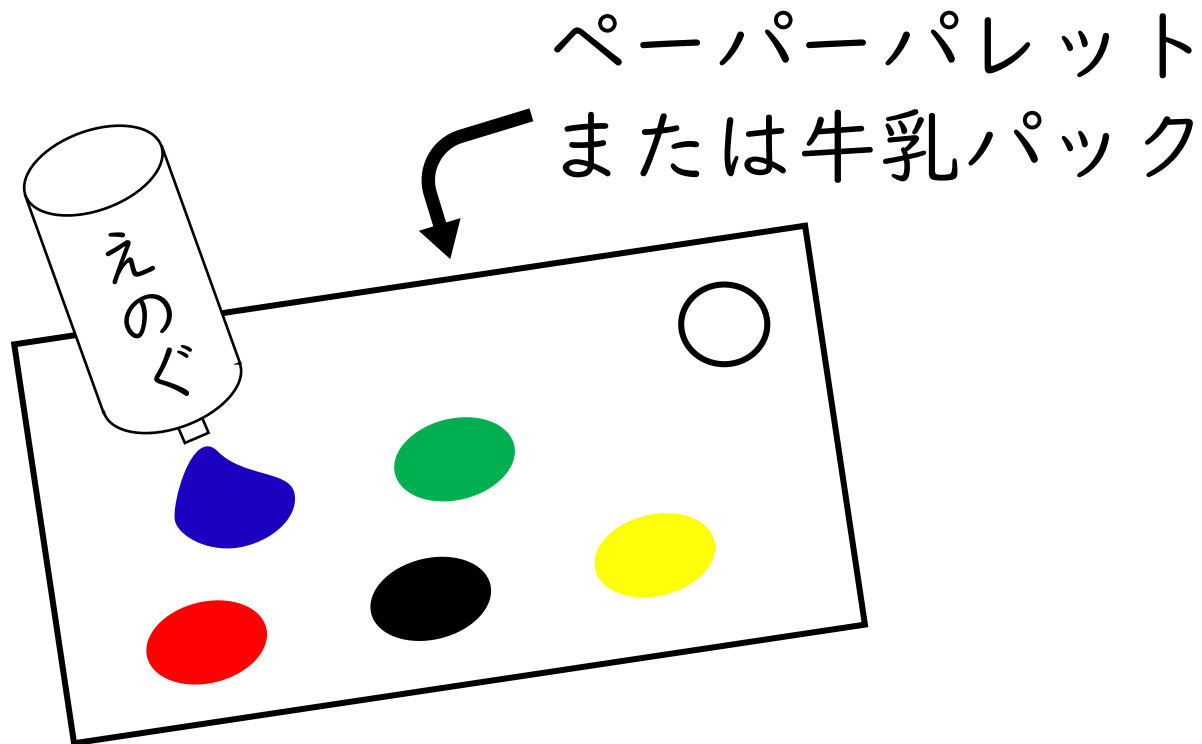
③ 板をみがこう

※必ず 新聞紙の上で作業してね。

- 1 専用の金ブラシ  でみがいて、すすをおとす
- 2 新聞紙  でこすってみがく (ツヤが出る)
(木目にそってみがこう)
- 3 布できれいにみがいて仕上げ

すべての面をしっかりとみがこう！

④ アクリル絵の具で絵をかく



新聞紙の上で作業してね！

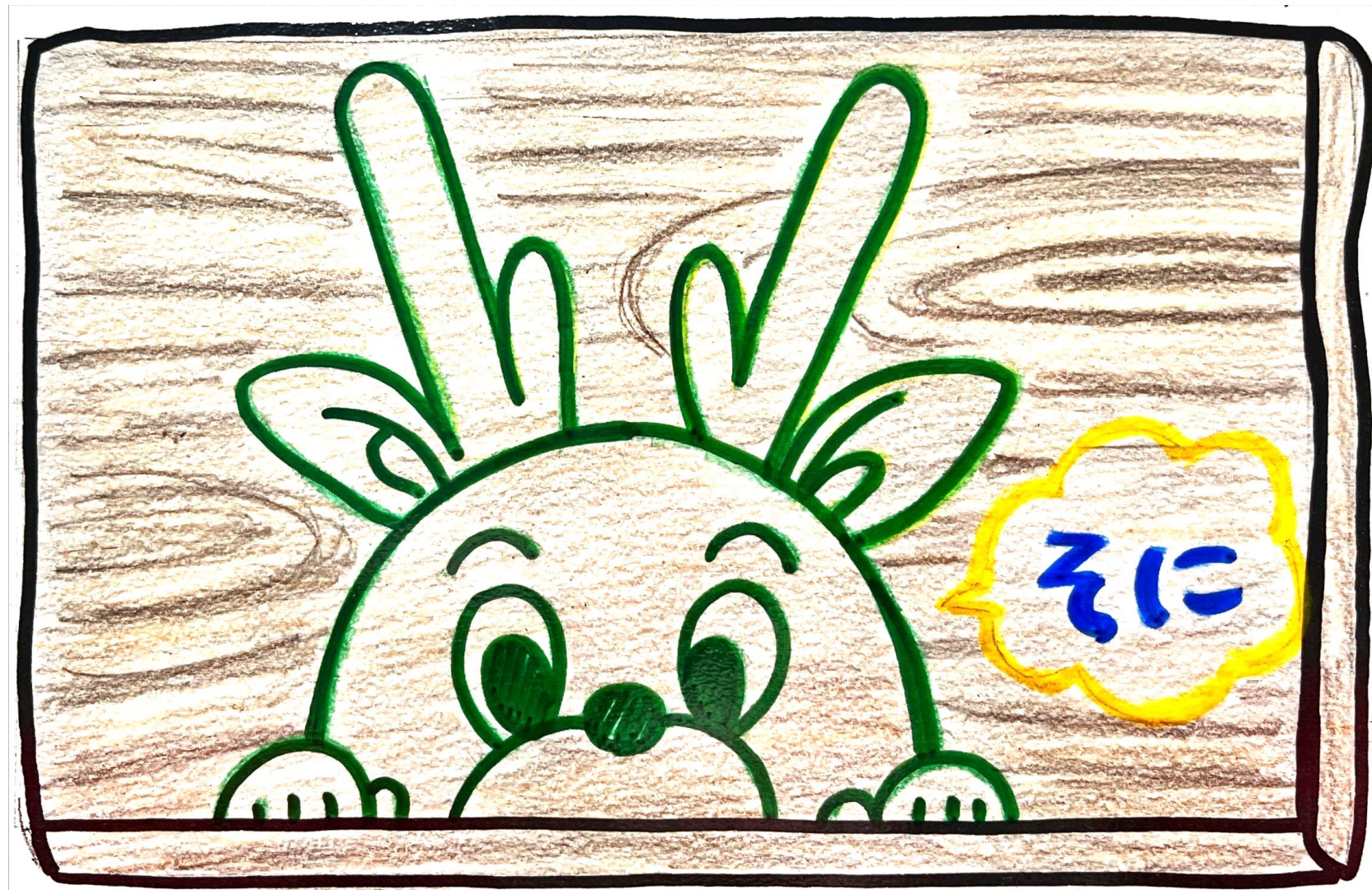


ちゅうい
服につくと
とれません！

- ・ 少しずつ出して使う。
- ・ 水でうすめず、
そのまま板にぬる。
- ・ 色をかえるときは、
筆をあらい、水をよく
ふきとってから使う。

絵の具がかわいたら完成～♪

かわかしている間に片付けをしましょう！



⑤ かたづけをしよう

次の人がきもちよく使えるようにしましょう。

- 1 水道で筆をあらおう。絵の具がかたまってしまうと、使えなくなってしまう。
- 2 絵の具をそろえよう。1つの箱に8色ありますか？

- 3 シーラー、ニススプレー、はさみ、絵の具を箱に入れて、とうめいのケースの中にもどしましょう。